

○海外の HPV ワクチンに関する訴訟

HPV ワクチンをめぐっては「日本では薬害訴訟になっているけれど、海外の訴訟は？」という疑問をみなさんお持ちだと思います。日本のメディアが、国や広告主への配慮からか、その実情をまったく報道しないからです。

例えばアメリカではガーダシルのメーカーであるメルク社を相手取って 200 件以上の訴訟が起きています。

アメリカには、全米各地で起こされる連邦裁判所の訴訟をまとめて一つの裁判所で審議する広域係属訴訟=MDL というしくみがあり、現在ノースカロライナ州の連邦裁判所で、それが進行中です。この「連邦ガーダシル MDL 訴訟」を闘っている弁護士事務所の一つ、ウィズナー・バウム法律事務所のウェブサイトが、日記形式で現状を報告していますので、その一部を抜粋し、機械翻訳の結果をご紹介します。

ウィズナー・バウム法律事務所のウェブサイト↓

<https://www.wisnerbaum.com/prescription-drugs/gardasil-lawsuit/#updates>

ガーダシル訴訟最新情報 2024

2024 年 11 月 4 日:ガーダシル MDL 訴訟件数は先月からほぼ変わらず、連邦訴訟は 207 件です。州裁判所でも訴訟が行われていることを覚えておいてください。

当法律事務所は、来年初めにカリフォルニア州裁判所に訴訟を起こす準備をしています。

2024 年 6 月 20 日:ウィズナー・バウム法律事務所の弁護士は先週、HPV ワクチン・ガーダシルが POTS (体位性頻脈症候群)、全身性エリテマトーデス、その他の重篤な自己免疫疾患を引き起こしたと主張する女性を代表して訴訟を起こしました。

原告はガーダシル接種後に以下の副作用に苦しんでいると主張しています。

- 線維筋痛症
- 特発性血小板減少性紫斑病 (ITP)
- 全身性エリテマトーデス
- 神経障害
- 体位性頻脈症候群 (POTS)
- 早期閉経
- 早発卵巣不全 (POF)
- トウレット症候群

この訴訟は連邦ガーダシル MDL で提起され、他の約 200 件の訴訟に加わりました。

2024年5月1日：ウィズナー・バウム法律事務所は、連邦ガーダシル MDL で HPV ワクチンによる死亡訴訟を起こしました。この訴訟は、何年も子宮頸がんを闘った後、22歳で亡くなったヘイリーさんの親、エリン・ファーガソンさんの代理として提訴されました。

2024年3月1日：先月、当事務所の弁護士は、HPV ワクチンが重度の自己免疫疾患および神経機能障害を引き起こし、最終的に娘たちの死に至ったと主張する2人の母親を代表して、ガーダシルによる死亡に関する新たな訴訟を2件起こしました。

これらの訴訟の詳細については、こちらをご覧ください。

<https://www.wisnerbaum.com/prescription-drugs/gardasil-lawsuit/gardasil-injury-cases/>

※※ 長文の為 続きは 隈本教授の以下のサイトを※※

▼限本文書

<https://drive.google.com/file/d/1EwSMtYiepuYyVqKa2fOKtKa6BgEzy63z/view?usp=sharing>